

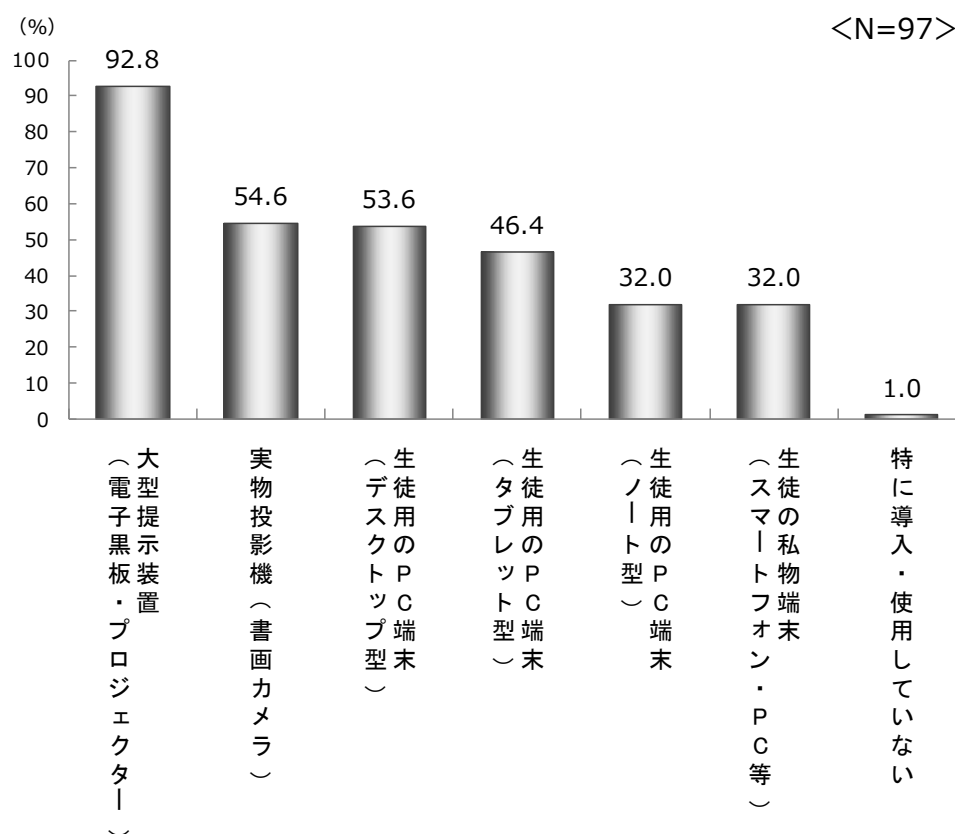
(2) 調査結果

a. 貴校全体での ICT 機器を活用した授業及びその準備の内容

① 授業・学習用で利用している ICT 機器

- ・授業や学習用に校内で使用されている ICT 機器としては、「大型提示装置」(92.8%) の利用が目立っている。次いで「実物投影機(書画カメラ)」(54.6%) が続いている。「生徒用の PC 端末」についてみると、「デスクトップ型」(53.6%)、「タブレット型」(46.4%) の利用率が高く、「ノート型」(32.0%) 「スマートフォン・PC 等」(32.0%) は低い値にとどまっている。

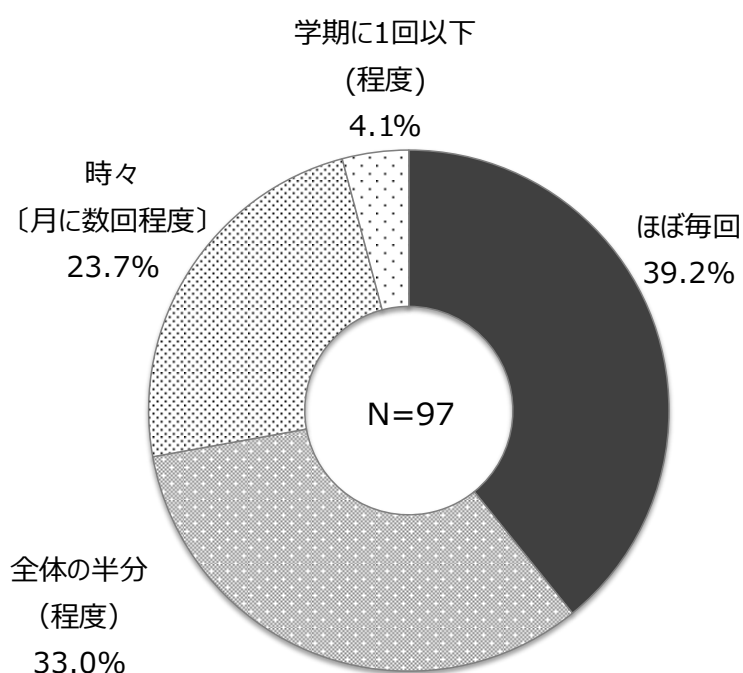
Q1. 以下の ICT 機器について授業や学習用に貴校で利用されているものをお答えください。
(いくつでも)



② 授業における ICT 機器の使用頻度

- ・授業における ICT 機器の使用頻度として、「ほぼ毎回」使用しているのは 39.2%と全体の 4 割となっている。また、「全体の半分（程度）」の使用は 33.0%、「時々（月に数回程度）」の使用は 23.7%を占めている。
- ・授業の半分以上で使用している割合は全体の 7 割以上を占めている。

Q2. 今年度（予定含む）の授業における ICT 機器の使用頻度をお答えください。教科を問わず、授業全体としてお考えください。（ひとつだけ）



<内閣府の事業参加校、ICT 先進都府県校の比較>

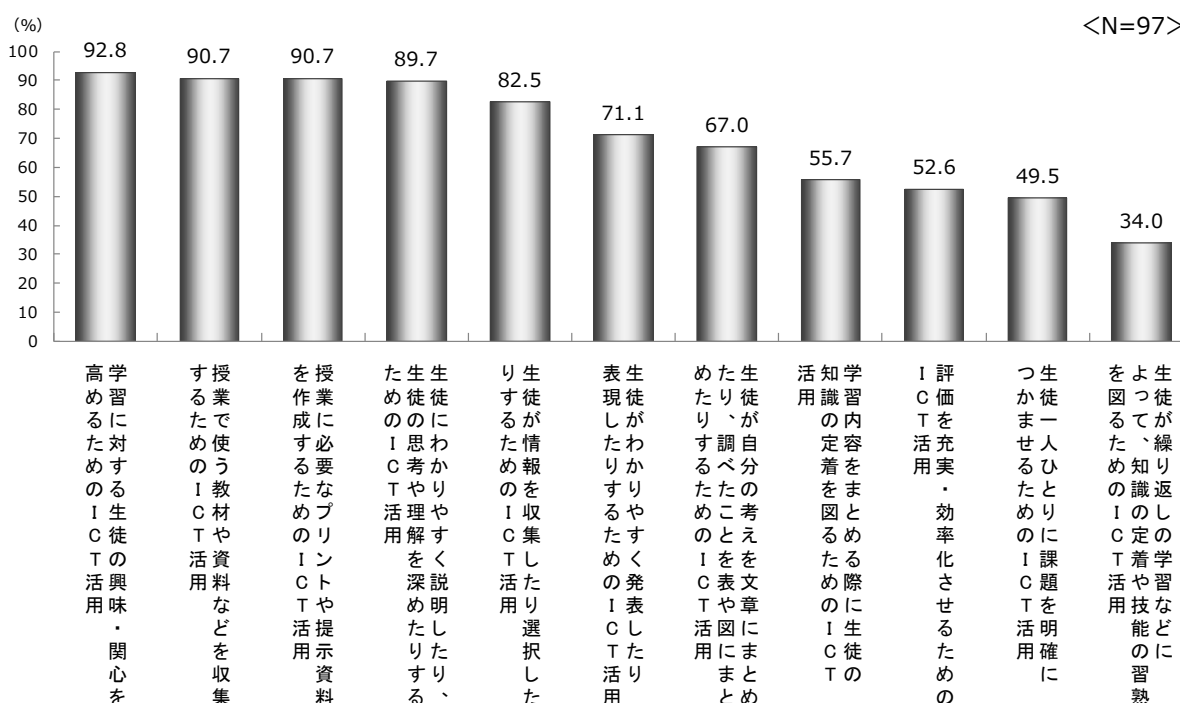
- ・ICT 先進都府県校の方が、「ほぼ毎回」が 42.4%と、内閣府の事業参加校の 34.2%を上回っている。

	合計	ほぼ毎回	全体の半分(程度)	時々〔月に数回程度〕	学期に1回以下(程度)
ICT先進都府県校	59	42.4	37.3	18.6	1.7 (%)
内閣府の事業参加校	38	34.2	26.3	31.6	7.9

③ 授業における ICT 機器の活用方法

- ・授業時の「学習への生徒の興味・関心を高めるため」(92.8%)、「授業で使う教材や資料などの収集」(90.7%)、「授業に必要なプリントや提示資料を作成するため」(90.7%)、「生徒にわかりやすく説明したり、生徒の思考・理解を深めるため」(89.7%)、がいずれも9割前後の高いスコアを示している。
- ・また、“生徒が主体となってICTを活用する”ものでは、「生徒が情報収集や選択するため」(82.5%)、「生徒がわかりやすく発表・するため」(71.1%)の活用が目立っている。
- ・一方、「生徒が知識の定着、習熟のため活用」は34.0%にとどまっている。

Q3. 貴校では、実際の授業や準備・評価において、どのようにICT機器を活用されていますか？
以下の中で、ICT機器の活用方法として当てはまるものをお答えください。(いくつでも)



④ ICT 機器の活用で効果が高かった取り組み

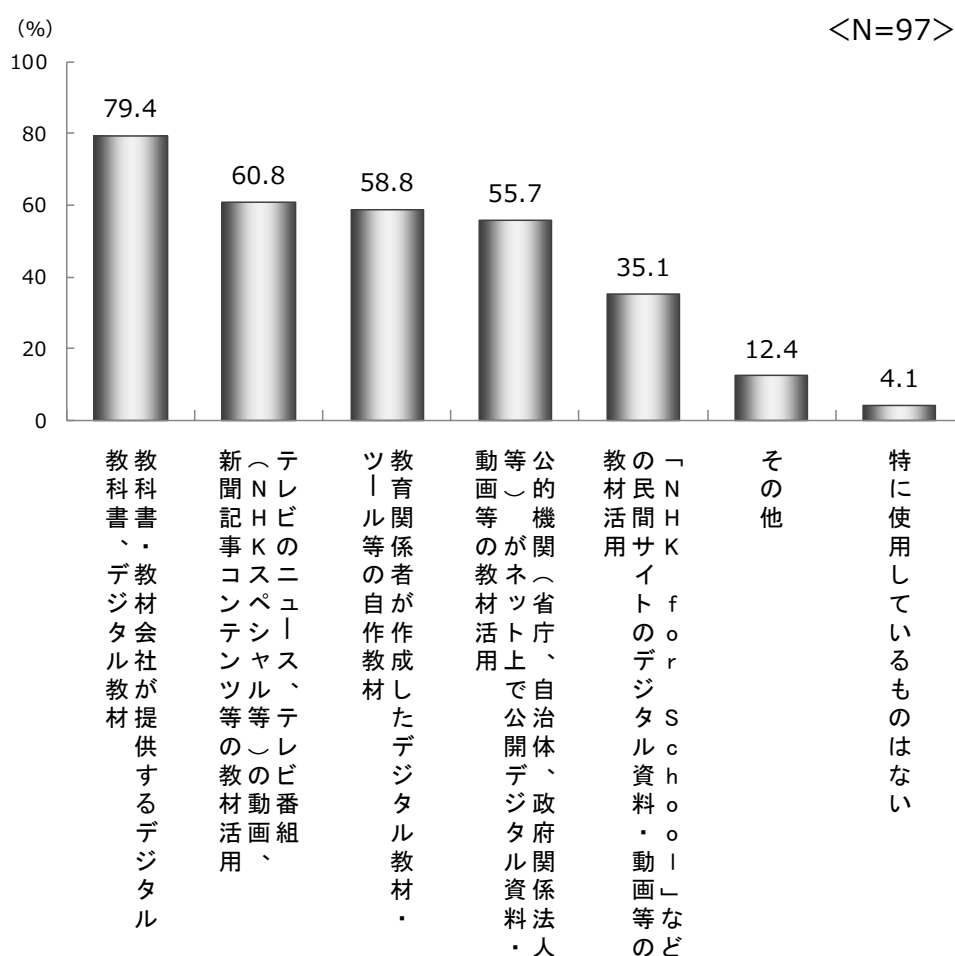
- ・ 高校教員からの回答は、具体的な機器・ツールの記載を中心としたものではなく、教育・授業の種類、目的、シチュエーションなどによる整理された回答が目立つ。
- ・ 一斉型授業時について、「学習課題を提示するまでの導入時間の短縮化」が図れたり、「物理・生物で現象を精密に測定、実験過程を繰り返し見せられる」、「グラフや図形の提示」、「ノートにまとめさせる際のアンダーライン、書き込みの指示（のしやすさ）」等の効率よく、共有できる効果が多く挙げられた。
- ・ 教科の課題研究や総合的な学習時の指摘もあり、本設問では具体的な機器利用や効果的な方法の回答は乏しい状況。
- ・ テストやアンケートでの活用の事例も挙げられているが、「マークシート試験での効率化」「生徒、保護者等へのアンケートにいつも利用」、さらに「相互評価アンケートをシステム化」などで、効果面で「教員負担の軽減、時間効率のアップ」という成果を挙げるケースが目立つ。

Q4. これまでの授業全般における ICT 機器の活用について、特に効果が高かったと感じる取り組みをお答えください。(自由回答)

⑤ ICT 機器を使用する授業で活用したデジタル教材・資料等

- ・授業において、「教科書・教材会社のデジタル教科書、デジタル教材」の活用が目立っており、79.4%にのぼる。次いで、「テレビニュース・番組動画、新聞記事コンテンツ等」(60.8%)、「教育関係者が作成したデジタル教材・ツール等の自作教材」(58.8%)、「公的機関がネット上で公開のデジタル資料・動画等」(55.7%)と続いている。
- ・「NHK for School 等民間サイトのデジタル資料・動画等」の使用は35.1%にとどまっている。

Q5. 貴校全体として、今年度(予定含む)、ICT 機器を使用する授業内で活用したことがあったデジタル教材、資料、情報があればお答えください。(いくつでも)



2. ICT を活用した北方領土教育・学習に関する調査(高等学校調査)

⑥ 効果的なデジタル教材

- ⑦各教科、出版社の「デジタル教科書」が個々に多く挙げられている。
 ⑧「NHK for school」や「Society5.0の動画」(政府広報オンライン)も多く挙げられている。民間資料として、NHKや他局の番組も多く挙げられた。
 ⑨「公的機関デジタル資料・動画」では、上記の他、「SDGsに関する動画」、「ジャパンアーカイブ」、「国立公文書館HP」等も挙げられている。
 ⑩具体的なアプリ「グーグルアース」、「ロイロノート」等が複数から挙げられた。

Q6. Q5 で回答したデジタル教材等の中で、効果的だったと感じる教材等があれば、具体的な機材名・出版社名(入手先がネットであれば、HP情報)および使い勝手などについて、以下の空欄にご記入ください。(自由回答)

・効果的なデジタル教材

教材の種類	教科	教材・資料名	出版社名・団体名・URL	件数	使い勝手
(教科書・教材会社) デジタル教科書・デジタル教材	社会科関連の教材	ムービー日本史	山川出版社	1	
			山川出版社	1	
		社会と情報	数研出版	1	1
		地理院地図		2	
		デジタル指導書 政治経済	東京書籍	1	
		社会のデジタル教科書		1	
		指導者用デジタル教科書 中学歴史・地理・公民(社会科)	帝国書院	1	
		授業支援デジタルコンテンツ 世界史共通	実教出版	1	
		生物基礎 指導者用デジタル教科書	東京書籍	1	1
		327改訂版数学		1	
	社会科以外の教材	イングリッシュセントラル		1	
		Geogebra		1	
		GRAPES		1	
		数学デジタル教科書	数研出版出版	1	
		理科のデジタル教科書		1	
		数研出版	数研出版	1	
	教科不明の教材	教科書会社の教材、デジタル教科書		3	
		スタディエイド(アプリ)	数研出版	2	1
		Classi		1	1
		教科書出版社が製作・販売した教材=パワーポイント仕様のもの	教科書出版社	1	
		ロイロノート(アプリ)		2	1
		moodle		1	1
		ペイントショップ		1	
		ClassiNOTE	株式会社コードタクト	1	1
(教育関係者) デジタル教科書・デジタル教材		アプリ		1	
		今昔マップ(時系列地形図閲覧ソフト)		1	
		スタディサプリ		1	
(公的機関) デジタル資料・動画		SDGsに関する動画		1	
		ジャパンアーカイブ		1	
		Society5.0の動画	政府広報オンライン	4	3
		内閣府・総務省など5Gに関する情報		1	
		国立公文書館・国立国会図書館HP		1	
		RESUS		1	1
		北方領土学習教材集 知っていますか? 北方領土	独立行政法人 北方領土問題対策協会	1	
		政府インターネットテレビの北方領土の関連など	政府	1	
民間サイトのデジタル資料・動画		NHK for school		8	4
		NHK番組の動画配信		1	
テレビのニュース、テレビ番組		NHK番組		3	1
		NHK以外のニュース、番組		3	1
		新聞記事データベース(ヨミダスforスクール、朝日けんさく君、日経テレコン21)		1	
				1	
その他		google Map		1	1
		グーグルアース		3	
		自分で撮影した動画や写真		1	
		現在実施中		1	
		自作の資料		3	
		TED(英語プレゼンテーション動画)		1	

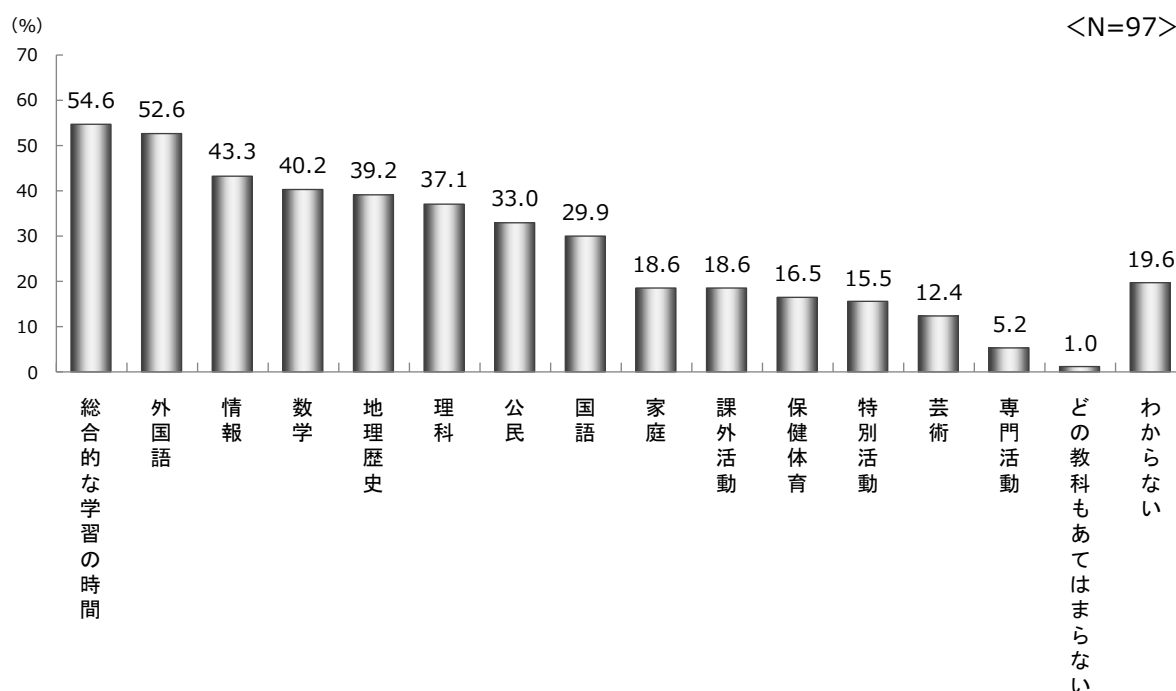
(※件数：全件掲載) (※使い勝手：件数のうち、使い勝手に関する具体的記載の数)

b. 貴校生徒の ICT を活用した個人学習・宿題等の実施

① 家庭での個人学習・宿題において ICT 機器を活用している教科

① 具体的な教科としては、「総合学習」(54.6%)、「外国語」(52.6%)、「情報」(43.3%)。「数学」(40.2%)での利用が比較的に目立っている。

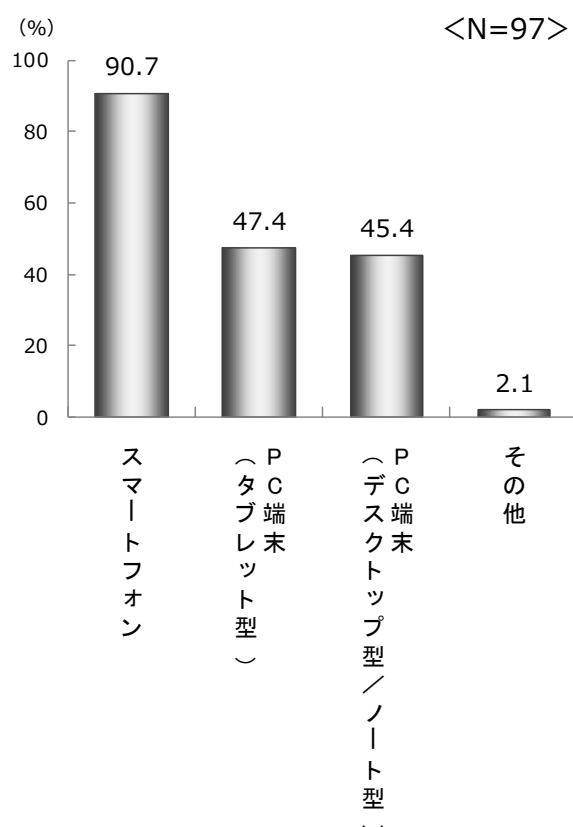
Q7. 生徒の皆さんは、ご家庭等での個人学習や宿題等において、ICT 機器を使用していると考えられますか。該当の教科をお答えください。(いくつでも)



② 家庭での個人学習・宿題において活用している ICT 機器

⑫家庭等で生徒が個人学習・宿題等のために活用していると考えられる ICT 機器としては、「スマートフォン」(90.7%)との回答割合が高く、次いで、「タブレット PC 端末」(47.4%)「デスクトップ型／ノート型 PC 端末」(45.4%)がいずれも4割台となっている。

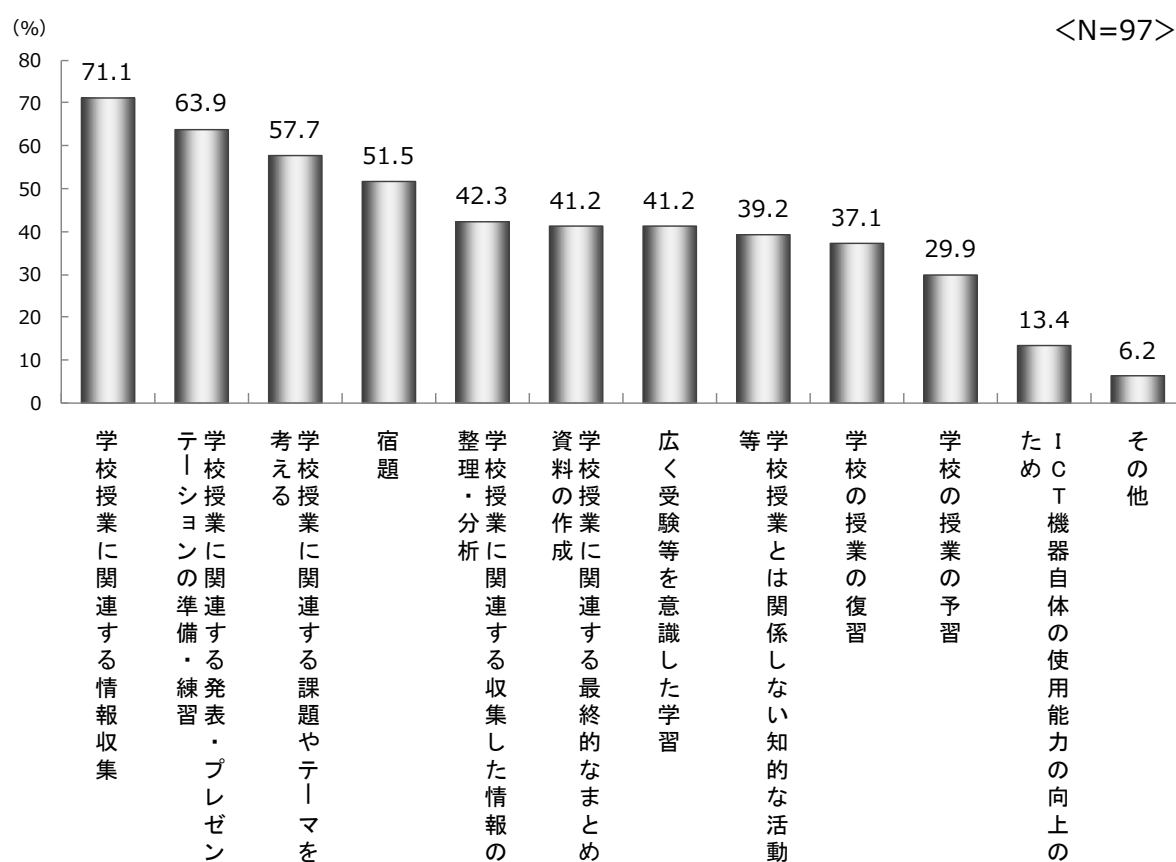
Q8. ご家庭等で生徒の皆さんが、個人学習、宿題等のために活用していると考えられる ICT 機器をお答えください。(いくつでも)



③ 家庭における ICT 機器活用の目的・場面

- ⑬家庭における ICT 機器活用の目的・場面としては、「学校授業に関連の情報収集」(71.1%)、「授業関連の発表・プレゼン準備・練習」(63.9%)が目立っている。これらに次ぎ「学校授業に関連する課題、テーマを考えること」(57.5%)、「宿題」(51.5%)が5割を超えている。
- ⑭また、生徒が家庭等で ICT 機器を使い「広く受験等を意識した学習」(41.2%)、「学校授業とは関係しない知的な活動等」(39.2%)に活用しているとの考えも4割前後となっている。

Q9. ご家庭等で生徒の皆さんは、どのような目的、場面で ICT 機器を活用していると考えられますか。以下の目的、場面等から選び、お答えください。(いくつでも)

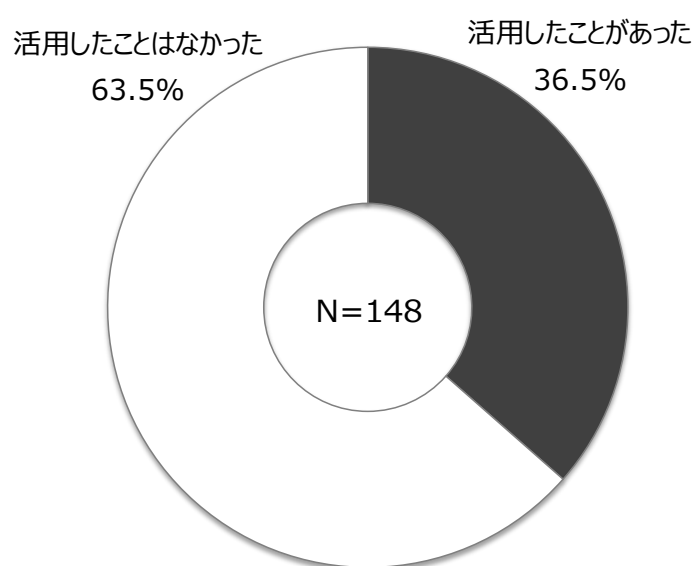


c. 北方領土に関する授業及びその準備内容

① 北方領土に関する授業における ICT 機器活用の有無

⑮ 「北方領土」に関する授業を行った際、ICT 機器を活用したことがあったと回答した学校は全体の 36.5%と 1/3 程度となっている。

Q10. 今年度（予定含む）において、「北方領土」に関する授業を行った際、ICT 機器を活用したことはありましたか。（ひとつだけ）



< 詳細 >

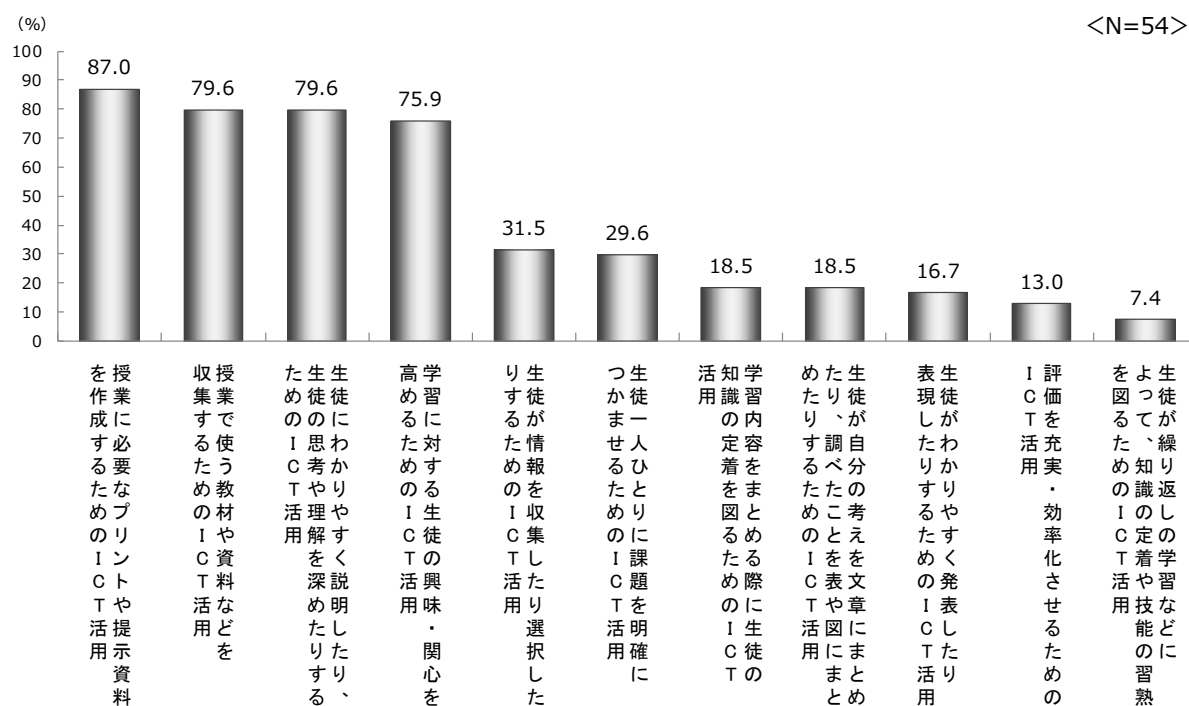
- ・「内閣府の事業参加校」(N=54) における ICT 機器活用は 38.9%、「ICT 先進都府県校」(N=94) における ICT 機器活用は 35.1%と大きな差異は見られない。

		合計	活用したことがあった	活用したことはなかった	(%)
選考理由	ICT先進都府県校	94	35.1	64.9	
	内閣府の事業参加校	54	38.9	61.1	

② 北方領土に関する授業における ICT 機器の活用方法 (活用校ベース)

- ⑩「北方領土」に関する授業で ICT 機器を活用したことがあった回答校 (全体の 36.5%) ベースでの結果として、準備時の「プリントや提示資料を作成するため」(87.0%) が最も多く、同じく準備時の「授業で使う教材や資料などの収集」(79.6%)、授業時の「わかりやすい説明、思考・理解を深めるため」(79.6%) が同率で続いている。これらに授業時の「学習への生徒の興味・関心を高めるため」(75.9%) まだが 3/4 以上で “教員が授業や生徒のために活用する” ものが高いスコアを示している。
- ⑪逆に、生徒が主体となる「生徒が自分の考えを文章にまとめたり、調べたことを表や図にまとめる」は 18.5%と低水準にとどまっている。北方領土に関する授業のなかで、教員が教えることが中心となり “生徒が主体となって取り組む” までにはいっていないことが考えられる。

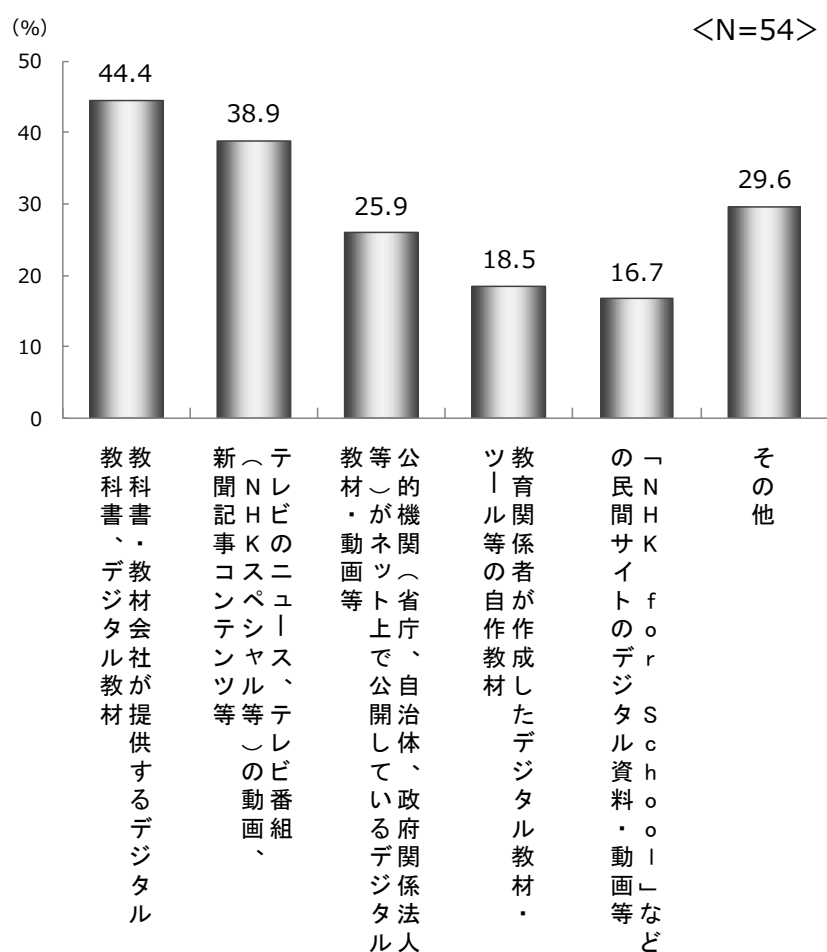
Q11. 貴校では、「北方領土に関する授業」や準備・評価において、どのように ICT 機器を活用されていますか？以下の中で、ICT 機器の活用方法として当てはまるものをお答えください。これからの予定も含めてお答えください。(いくつでも)



③ 北方領土に関する授業で活用したもの（活用校ベース）

- ⑱ 「北方領土」に関する授業で ICT 機器を活用したことがあった回答校（全体の 36.5%）ベースでの結果としては、「教科書・教材会社のデジタル教科書、デジタル教材」（44.4%）、「テレビニュース・番組動画、新聞記事コンテンツ等」（38.9%）が多く、4 割前後である。「公的機関がネット公開のデジタル教材・動画等」（25.9%）、もそれに次ぐ。
- ⑲ 「教育関係者が作成のデジタル教材」（18.5%）、「NHK for School」等民間サイトのデジタル資料・動画等」（16.7%）は 2 割未満と比較的少ない。

Q12. 北方領土に関する授業の中で実際に活用された「デジタル教材、資料、情報等」があれば、以下の中から選んでください。今年度これからの予定も含めてお答えください。（いくつでも）



2. ICTを活用した北方領土教育・学習に関する調査(高等学校調査)

④ 北方領土に関する授業での効果的な教材(活用校ベース)

②0 42 件の具体的挙名のうち、約 2 割の 9 件が「デジタル教科書・デジタル教材」に関するもので多く、これと並び「内閣府」、「北方領土問題対策協会」、「外務省」等の公的機関のデジタル資料・動画が挙げられている。

21 具体的には「内閣府(北方対策本部)HP」は分かりやすく問題をまとめてあり、情報提示に適している」、「公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟HP:元島民の語り部の方のコメントが問題をより身近に感じさせてくれ、興味・関心を高めている。」などの回答。3 件挙げた Google earth は「さまざまなスケールで地域情報を提示できるので、日本周辺での位置関係、距離感、大きさ等を理解するのに適している。ストリートビューで一部の街の様子も確認できるので興味関心を掻き立てるのに役立つ。」と評価されている。

Q13. Q12 で回答したデジタル教材等の中で、効果的だったと感じる教材等があれば、具体的な教材名・出版社名(入手先がネットであれば、HP 情報)および使い勝手など、以下の空欄にご記入ください。(自由回答)

・北方領土に関する授業での効果的な教材

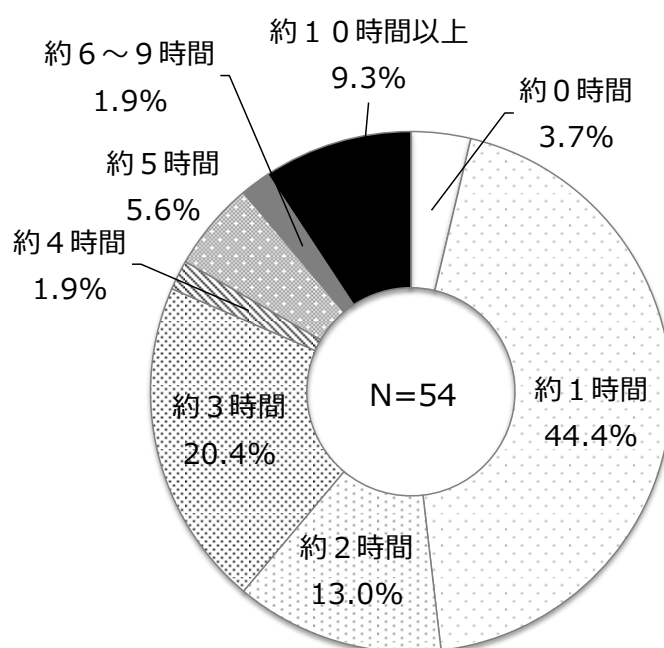
code	教材の種類	教材・資料名	出版社名・団体名・URL	件数	使い勝手
1	(教科書・教材会社) デジタル教科書・デジタル教	教科書の地図・系図・表のデータ	山川出版社	1	
2		山川出版社デジタル史料集	山川出版社	2	
3		最新日本史図表	第一学習社	1	1
4		図説 日本史通覧の地図「縮小した日本の領土」	帝国書院	1	
5		帝国書院の教科書、教師用指導書	帝国書院	1	
6		政治・経済資料	とうほう	1	
7		日本史デジタル素材集	山川出版社	1	
8		中学生の地理 デジタル教科書	帝国書院	1	
9		教材会社のビデオ		1	
		高校政治経済	実務出版	0	
41	(公的機関) デジタル資料・動画	内閣府 北方対策本部のHP	内閣府	1	1
42		内閣府のHP	内閣府	1	
43		北対協のHPからダウンロードできる指導案やプリント類	独立行政法人 北方領土問題対策協	2	
44		公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟HP	公益社団法人千島歯舞諸島居住者連	1	1
45		外務省HPの北方領土関係サイト	外務省	2	
46		北方領土の生中継映像		1	
47		北方同盟から貸与された北方領土教育のDVD	北方領土復帰期成同盟	1	
48		政府インターネットテレビ	政府	1	
49		国土交通省HP	国土交通省	1	
71	民間サイトのデジタル資料・動画	NHK for School		1	
72		NHKの動画配信		1	
81	テレビのニュース、テレビ番組	各新聞社の記事や図、グラフ		2	
82		北方領土交渉の新聞記事		1	
83		チャンネルくらら(倉山満) インターネットテレビ		1	
84		NHKスペシャル		1	1
85		北海道クローズアップ	NHK札幌放送局	1	1
86		池上彰のニュースそうだったのか!!		1	
87		NHKのニュース、番組		1	
91	その他	Google earth		3	1
92		google Map		1	1
99		北方領土視察時や研修時の写真・動画、資料を活		4	2
93		自分で収集した写真やパンフレット		1	1
94		白地図専門店		1	1
95		教材提示装置を使用しスクリーンに投影		1	

(※件数：全件掲載) (※使い勝手：件数のうち、使い勝手に関する具体的記載の数)

⑤ 北方領土に関する授業の準備にかかった時間（活用ベース）

22 「北方領土に関する授業準備に要した時間」としては、「約 1 時間」が 44.4%、「約 2 時間」は 13.0%、「約 3 時間」は 20.4%で続き、3 時間以内が全体の約 8 割を占める一方で、「10 時間超」(9.3%)、「約 6～9 時間」(1.9%) との回答もみられた。平均時間は 3 時間 29 分。

Q14. ICT を活用した北方領土に関する授業準備について、「どのような準備に、どのくらい時間をかけられたのか」を具体的にお答えください。(ひとつだけ)



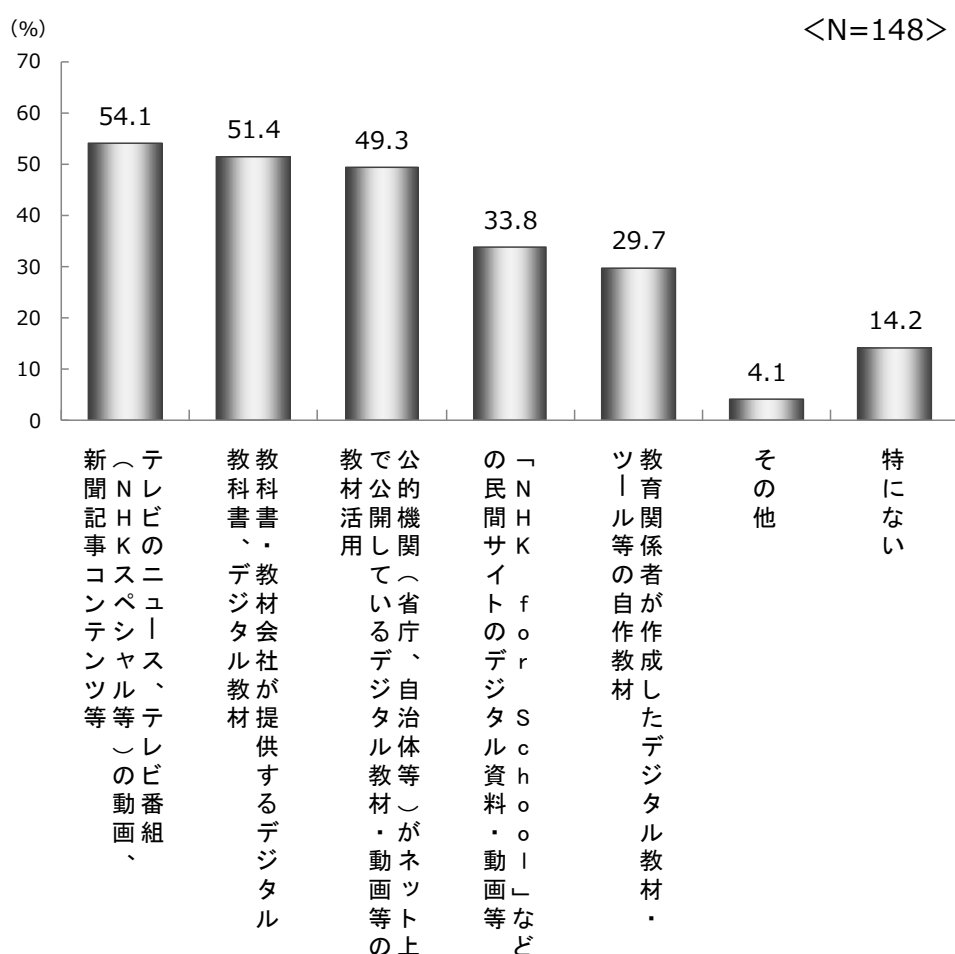
< 内閣府の事業参加校、ICT 先進都府県校の比較 >

- ・「ICT 先進都府県校」(N=33) で平均 3 時間 29 分に対し、「内閣府の事業参加校」(N=21) では 4 時間 00 分と、授業準備にかかる時間が上回っている。

⑥ 北方領土に関する授業で活用したいもの

23 「北方領土に関する授業」で活用したいと考える対象としては、「テレビニュース・番組動画、新聞記事コンテンツ等」(54.1%)、「教科書・教材会社のデジタル教科書、デジタル教材」(51.4%)、「公的機関がネット公開のデジタル資料・動画等」(49.3%)、が約5割。「NHK for School」等民間サイトのデジタル資料・動画等」(39.2%)がこれらに次いで高い。

Q15. 「北方領土に関する授業」で活用したいと考えているデジタル教材、資料、情報があればお答えください。(いくつでも)



＜内閣府の事業参加校、ICT先進都府県校の比較＞

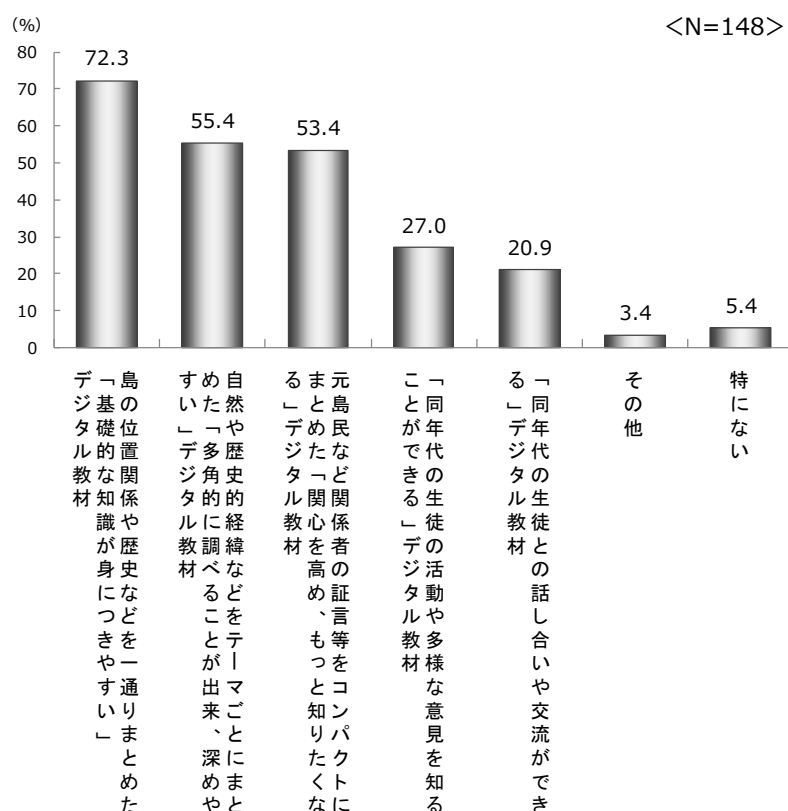
- ICT先進都府県校、内閣府の事業参加校における回答を比較すると、内閣府の事業参加校の方が全般に各教材等に対する活用意向が高くなっている。

		合計	教科書・教材会社が提供するデジタル教科書、デジタル教材	教育関係者が作成したデジタル教材・ツール等の自作教材	公的機関(省庁、自治体等)がネット上で公開しているデジタル教材・動画等の教材活用	「NHK for School」などの民間サイトのデジタル資料・動画等	テレビのニュース、テレビ番組(Nスベ等)の動画、新聞記事コンテンツ等	その他	特になし
選考理由	ICT先進都府県校	94	48.9	27.7	45.7	33.0	53.2	4.3	19.1
	内閣府の事業参加校	54	55.6	33.3	55.6	35.2	55.6	3.7	5.6

⑦ 北方領土に対する理解を深められるデジタル教材

24 「位置関係や歴史などを一通りまとめた基礎的知識が身につけやすいデジタル教材」が72.3%と最も高く、「自然や歴史的経緯などをテーマごとにまとめ多角的に調べることが出来、深めやすいデジタル教材」(55.4%)、「元島民等の証言等をコンパクトにまとめ関心を高め、もっと知りたくなるデジタル教材」(53.4%)も5割を超え、他の項目と大きな差が生じている。

Q16. 「北方領土に関する授業」でどのようなデジタル教材があれば、生徒の皆さんに、北方領土に対する理解を深めてもらうことができると考えますか？（いくつでも）



<内閣府の事業参加校、ICT先進都府県校の比較>

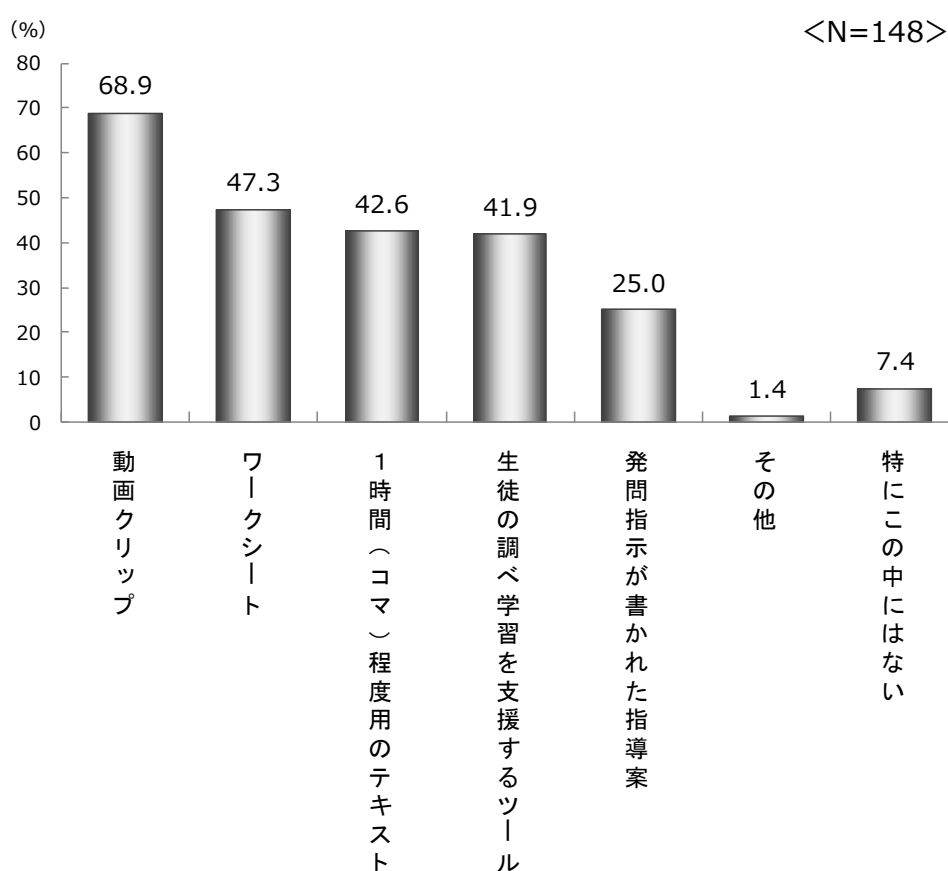
- ICT先進都府県校、内閣府の事業参加校を比較すると、最も高い「位置関係や歴史などを一通りまとめた基礎的知識が身につけやすいデジタル教材」および「自然や歴史的経緯などをテーマごとにまとめた、関心を高めもっと知りたくなるデジタル教材」はICT先進都府県校の方が高い。「元島民等の証言等をコンパクトにまとめ関心を高め、もっと知りたくなるデジタル教材」は53%台で同率。「同年代の生徒の活動や多様な意見を知ることができる」、「同年代の生徒との話し合いや交流ができるデジタル教材」の何れも「内閣府の事業参加校」の方が高い傾向がある。

		合計	島の位置関係や歴史などを一通りまとめた「基礎的な知識が身につけやすい」デジタル教材	元島民等関係者の証言等をコンパクトにまとめた「関心を高め、もっと知りたくなる」デジタル教材	自然や歴史的経緯などをテーマごとにまとめた「多角的に調べることが出来、深めやすい」デジタル教材	「同年代の生徒の活動や多様な意見を知ることができる」デジタル教材	「同年代の生徒との話し合いや交流ができる」デジタル教材	その他	特になし
選考理由	ICT先進都府県校	94	70.2	53.2	56.4	24.5	19.1	4.3	6.4 (%)
	内閣府の事業参加校	54	75.9	53.7	53.7	31.5	24.1	1.9	3.7

⑧ 活用したいWeb サイト上のツール

Web サイト上にあれば活用したいものとしては、「動画クリップ」が 68.9%と圧倒的に高い支持を集めている。「ワークシート」(47.3%)、「1 時間 (コマ) 程度用のテキスト」(42.6%) も 4 割台のニーズを集めている。さらに「生徒の調べ学習を支援するツール」(41.9%) が続いている。

Q17. 生徒の皆さんに、北方領土に対する理解を深めてもらうために、Web サイト上にどのようなものがあれば、活用したいと思いますか？以下の中で活用したいと思うものを選んでください (いくつでも)



⑨ 北方領土に関する授業で困っていることや希望すること

- 26 具体的な回答を内容に基づき分類すると、「北方領土に割ける時間の不足、制約」に関する回答と「授業で活用できる資料・教材の不足」が最も多く、「自分事化しづらい／身近でない」「難しい外交問題」等の問題・課題の指摘も多い。これらに次ぎ、「慎重に対応する必要」、「政治的な中立確保への配慮」等の課題も挙げられている。
- 27 希望する教材等の観点では、「国際関係論・法の視点」、「ロシア側（政府）の主張」という内容、「モデルとなる指導案／実践例」、「動画クリップやワークシートの教材」、「視覚に訴える教材」、「わかりやすい、使いやすい教材（提供、アクセス）」といった類の希望が多い傾向である。

Q18. 「北方領土に関する授業」について困っていることや希望することなど、以下の空欄にご自由に記載してください。（自由回答）

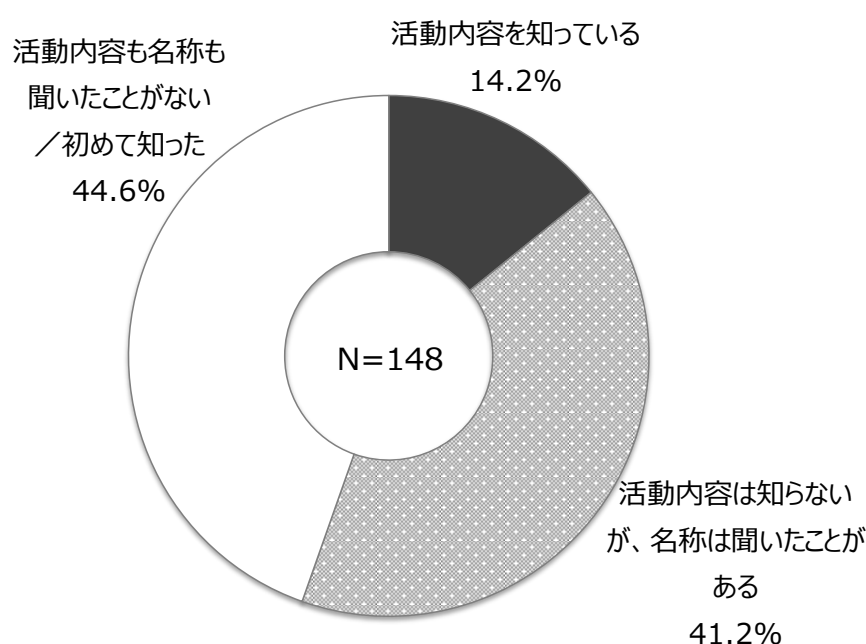
総有効回答数	68
北方領土問題教育に関する意見／問題・課題	
時間が不足／取り扱う時間的余裕がない／授業時間の確保が課題	11
授業で活用できる資料・教材の不足（映像、補助教材、一般資料等）	11
自分事化しづらい／身近でない	6
難しい外交問題（現在進行形・政府答弁変化、ロシアへの心情配慮等）	5
慎重に対応する必要（テーマ選択、地域性、多国籍生等）	3
政治的な中立性確保への配慮	3
生徒の興味関心を引きつけることが困難	2
生徒なりに解決策を考える授業づくり	2
授業計画での他の領土関連問題との関係	2
教科書の記述内容の不足	2
教科間（地理、歴史、公民）の連携のしにくさ／工夫が必要	2
教える側が行ったことがない、リアリティがない等	2
北方領土問題教育に関連して希望する教材	
国際関係論、国際法視点／現在のロシアとの関係	6
ロシア側（ロシア政府）の主張	4
モデルとなる指導案／実践例	3
動画クリップやワークシートなどの教材	3
視覚に訴える教材	3
わかりやすい、使いやすい教材（提供、アクセス）	3
現在の北方領土の様子（映像等）	3
現在の北方領土の自然・風土が分かる資料（映像等）	2
日本人が暮らしていた当時の様子が分かる資料（写真や映像集）	1
元島民の話を実際に聞く機会	1
現在、北方領土に住んでいるロシア系住民の考え・思い	1
（現在の）ロシア島民の暮らしに触れられるような写真や資料	1
今後の見通しやあり方を論じた資料	1
多様な意見を知るツール、外国の視点等	1
歴史的経緯、背景を整理した資料	1
非分類件数	6

d. 「独立行政法人 北方領土問題対策協会（北対協）」について

① 「独立行政法人 北方領土問題対策協会」の認知（北対協認知者ベース）

28 「独立行政法人 北方領土問題対策協会（北対協）」について「活動内容を知っている」との回答は 14.2%となっている。「活動内容も名称も聞いたことがない／初めて知った」は 44.6%を占めており、名称認知まで含めた認知率は 41.2%。

Q19. あなたは、「独立行政法人 北方領土問題対策協会（北対協）」をご存知ですか？（ひとつだけ）



<内閣府の事業参加校、ICT 先進都府県校の比較>

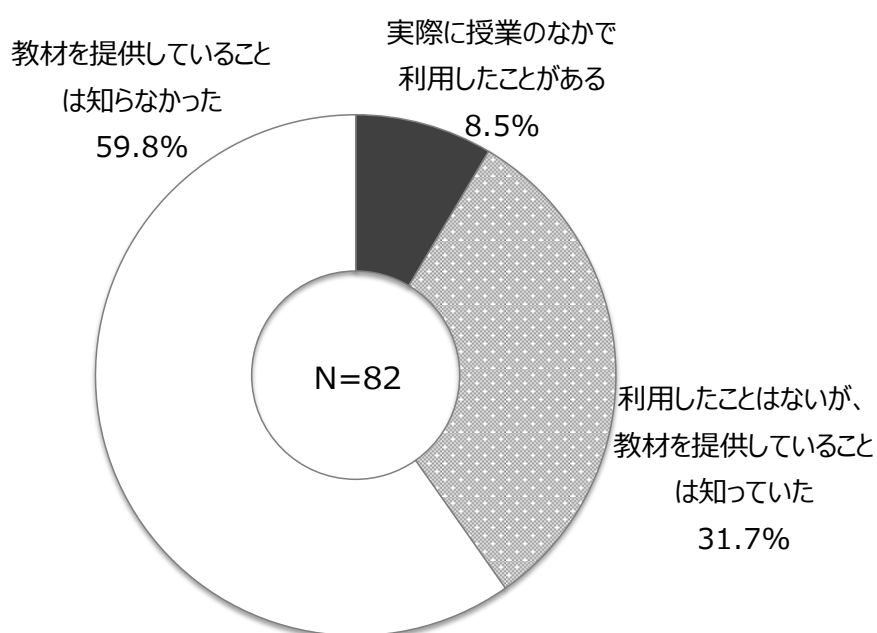
- ・ICT 先進都府県校に限定すると「活動内容も名称も聞いたことがない／初めて知った」は 51.6%、「活動内容は知らないが、名称は聞いたことがある」は 39.8%となっている。

			活動内容を知っている	活動内容は知らないが、 名称は聞いたことがある	活動内容も名称も聞いた ことがない／ 初めて知った	[認知計]
選考理由	ICT先進都府県校	94	8.5	39.4	52.1	47.9 (%)
	内閣府の事業参加校	54	24.1	44.4	31.5	68.5

② 「独立行政法人 北方領土問題対策協会」の教材の利用（北対協認知者ベース）

29 「北対協」の名称認知者において、北対協の教材を「実際に授業で利用したことがある」は8.5%にとどまり、「利用したことはないが、教材を提供していることは知っていた」との回答は31.7%となっている。

Q20. 「独立行政法人 北方領土問題対策協会（北対協）」は北方領土問題を子どもたちに伝えるための教材を提供しています。あなたは、これらの教材を授業のなかで利用されたことはありますか？（ひとつだけ）



<内閣府の事業参加校、ICT 先進都府県校の比較>

・内閣府の事業参加校では認知が45.9%で、「実際に授業で利用したことがある」が18.9%であるが、ICT 先進都府県校では認知が35.6%、利用はゼロと乖離がある。

		実際に授業で 利用したことがある	利用したことはないが、 教材を提供は知っていた	教材を提供していることは 知らなかった	[認知計]
ICT先進都府県校	45	—	35.6	64.4	35.6 (%)
内閣府の事業参加校	37	18.9	27.0	54.1	45.9